**ニュー911 GTSモデル**

**目次**

概要：進化した性能、印象的なデザイン、そしてスポーティなサウンド 2

ポルシェ911ファミリーのスポーティな新メンバー：
5台のニュー GTSモデル。5倍のパワー。 5

性能とエンジン – 新しいターボチャージャーがさらなる出力を提供 5

低く構えるスポーティなシャシーに、リアアクスルステアをオプションとして設定 8

デザインとエアロダイナミクス – よりシャープなラインとさらに大きなダウンフォース 9

ポルシェ・コミュニケーションマネージメント – 使いやすいインフォテイメント 12

オプションのアシスタンスシステム – 性能の強化に見合った安全性の向上 14

概要

**進化した性能、印象的なデザイン、そしてスポーティなサウンド**

ニューポルシェ911 GTSモデルは、かつてない優れた性能と効率性を発揮します。後輪駆動モデルの911カレラGTS、4WDモデルである911カレラ4 GTSのクーペとカブリオレ、そして911タルガ4 GTSの合計5つのバージョンが用意されています。3リッターの水平対向6気筒ツインターボエンジンに採用される新開発のターボチャージャーは、現在の911カレラSモデルに比べて22kW（30PS）、自然吸気エンジンを搭載した先代GTSモデルに比べて15kW（20PS）の追加出力を発生させます。全モデルに7速マニュアルトランスミッションが標準装備されており、オプションでポルシェ・ドッペルクップルング（PDK）を選択することができます。

**ドライブトレイン** 新開発のターボチャージャーを備えた3リッター水平対向6気筒ツインターボエンジンにより、最高出力331kW（450PS）、最大トルク550N・m/2,150－5,000rpmが生み出されます。

**性能** ニュー911カレラ4 GTSクーペのポルシェ・ドッペルクップルング（PDK）およびスポーツクロノパッケージ仕様車の0－100km/h加速タイムは3.6秒。後輪駆動911カレラGTSクーペのマニュアルトランスミッション仕様車の最高速度は312km/hに達します。燃料消費量は自然吸気エンジンを搭載した先代モデルよりも、最大で0.6リッター/100km削減されています。

**シャシー** GTSモデルはカレラ4のボディを全車に採用しているため、トレッドがワイドになっています。これによってボディロールの少ない安定したコーナリングが可能になります。GTSには、ターボS由来のシルキーグロスブラックに塗装されたセンターロック式20インチホイールが標準装備されます。ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム（PASM）を備えたアクティブなスポーツシャシーは、911カレラSに比べてGTSクーペの車高を10mm低く設定します。GTSの全モデルにスポーツクロノパッケージが標準装備されます。オプションのリアアクスルステアは、ハンドリングを改善しながら、高速走行時の安定性を大幅に高めます。

**デザインおよび**

**エアロダイナミクス** 新しいスポーツデザインフロントエプロンが、他のカレラモデルやタルガモデルと異なる外見をGTSに与えます。低いフロントスポイラーと、より高い位置のリアスポイラーエクステンションがフロントアクスルとリアアクスルの揚力を低減させます。リアでは、ティンテッド加工が施されたテールライト、ブラックのロゴ、エアインテークグリル、および中央のブラックテールパイプがGTSならではの外観を演出します。後輪駆動モデルは、テールライト間のライトストリップに代わってブラックのトリムストリップが備わることで視覚的な差別化がなされます。スポーツデザインドアミラーとシルキーグロスブラックに塗装されたセンターロック式ホイールがサイドビューを特徴づけます。911タルガ4 GTSには初めてブラックのタルガバーが標準装備されます。

**サウンド** スポーツエグゾーストシステムが標準装備され、遮音材を低減したことにより特徴的なGTSサウンドを提供します。

**インテリア** スポーティな車内：GTSの乗員が着座するのは、新しいステッチ加工が施されたアルカンターラスポーツシートです。トリムストリップには、ブラックアルマイトフィニッシュのブラッシュアルミニウムが使用され、ステアリングホイールリム、センターコンソール、およびアームレストは、アルカンターラで覆われています。オプションでクーペのリアシートを取り外せば、さらなる軽量化が可能です。

**インフォテイメント** タッチスクリーンを備えたポルシェ・コミュニケーションマネージメントシステム（PCM）は、スマートフォン同様に操作が簡単です。GTS全モデルに新しいポルシェ トラックプレシジョンアプリが初めて標準装備されます。モータースポーツに由来するこの機能が追加されたことで、スマートフォンへの自動記録、詳細表示、およびドライビングデータの分析が可能になります。

ポルシェ911ファミリーのスポーティな新メンバー

5台のニュー GTSモデル。

5台のニュー GTSモデルは、911カレラ/911タルガラインにおいて最もスポーティでエモーショナルなモデルです。どれもスポーツ性と実用性を兼ね備えたモデルを高く評価するドライバーに向けて設計されています。GTSモデルは、パフォーマンス志向の装備が充実しているほか、ベーシックモデルでも高水準のトリムを採用しています。

904カレラGTSは、1963年に公道仕様のスポーツカーとして、初めてモータースポーツテクノロジーをロードにもたらしました。その後1980年代と1990年代には、924 GTSと928 GTSがこのコンセプトに磨きをかけました。2010年には、911カレラGTS（タイプ997）の形でGTSは生まれ変わりました。以来、スポーツカーのアイコンである911のGTSモデルは、合計で15,334台が販売されています。

**性能とエンジン – 新しいターボチャージャーがさらなる出力を提供**

全てのポルシェは、その心臓部に独自のエンジンをマウントしています。ニュー911 GTS モデルのリアエンドには3リッター水平対向6気筒ツインターボエンジンが搭載されていて、最高出力331kW（450PS）、最大トルク550N・m/2,150－5,000rpmを発生します。この最高出力は、911カレラSの値を22kW（30PS）、自然吸気エンジンを搭載する先代GTSの値を15kW（20PS）上回ります。このような出力増加は新開発のターボチャージャーと高い過給圧によるもので、トルク特性の改善、迅速な加速、最高速度の向上を実現させています。全ての911 GTSモデルの0－100km/h加速タイムは、現行のSモデルを0.2秒以上凌ぎます。最も早くこの速度に到達できる911カレラ4 GTSクーペPDK仕様車（スポーツ・プラスモードを使用）の加速タイムはわずか3.2秒です。GTSモデルは、全車の最高速度が300km/hを超えており、後輪駆動モデルのクーペ（マニュアルトランスミッション仕様車）にいたっては312km/h（Sモデルを4km/h上回る）に達します。

しかしそれが全てではありません。GTSはすばらしい加速およびスプリント性能と抜群の横方向のダイナミクスを兼ね備えます。通常のタイヤを装着した911カレラGTSは、73のコーナーが存在する、全長20.83kmのニュルブルクリンク（ノルドシュライフェ）をわずか7分26秒で完走しました。これは先代を12秒、現行の911カレラSを4秒上回る結果です。

ポルシェは、GTSモデルの導入と並行して、サーキット走行用に特別に設計した新しい公道仕様UHP（超高性能）スポーツタイヤを提供します。タイヤコンパウンド、偏平率、溝の深さをハイパフォーマンスモデル用に仕立てたこれらのタイヤは、911の現行モデル全車への装着が可能で、ポルシェ正規販売店から入手することができます。UHPタイヤを装着すれば、サーキットでより長い距離にわたって早いラップタイムを維持することができます。これらのタイヤを装着したGTSは、ニュルブルクリンクのノルドシュライフェにおけるラップタイムをさらに4秒短縮します。20インチホイールのタイヤサイズは、フロント245/35、リア305/30です。

しかし、GTSの性能は、出力のみではなくエンジン音によっても決定づけられます。中央にブラックのテールパイプを配置したスポーツエグゾーストシステムは、水平対向エンジンに比類のないエンジン音を与えます。レブリミッターまで加速したときのハスキーな咆哮とスポーツとスポーツ・プラスモード時における自動スロットルブリップ機能によるショートバーストが911特有のサウンドを生み出します。エンジンとエグゾーストフラップコントロールの特別に調整された相互作用は、吸音の低減とともにGTSモデルにいっそうエモーショナルな響きを与えます。この独特なサウンドが車の特徴をさらに強調します。

しかしGTSの効率性の高さは変わりません。高出力にもかかわらず、たとえば911カレラGTSのPDK仕様車の燃料消費量（NEDC）は8.3リッター/100km、CO2排出量は188g/kmです。

911 GTS全モデルには、リアアクスルにパワーを伝える7速マニュアルトランスミッションが標準装備され、オプションで7速ポルシェ・ドッペルクップルング（PDK）を選択することができます。PDKは、マニュアルトランスミッションの高い機械効率とオートマチックトランスミッションのシフティングとドライビングの利便性を兼ね備えます。トラクションの途切れることのない迅速なギアシフトは、スポーツプログラムによって増大したトルクと相まって加速を改善し、高速ラップを可能にします。さらに、PDKの最適な変速比とシフトプログラムが効率性の改善に寄与します。

GTS全モデルにもうひとつの実用的な標準装備が含まれます。スポーツクロノパッケージに含まれるステアリングホイールのモードスイッチによって、ノーマル、スポーツ、スポーツ・プラス、インディビジュアルのドライビングプログラムを選択することができます。スポーツモードにすると、エンジンのレスポンスがさらにダイレクトになり、PDKは素早いレスポンス時間と最適なシフトポイントに設定されて、最高の加速を提供します。トランスミッションは早めにシフトダウンし、シフトアップするタイミングが遅くなります。シフトダウン時には自動的に中間加速に切り替わります。スポーツ・プラスモードにすると、この特徴がさらに顕著になり最高の性能に適合されます。このモードにはレーシングスタート用のローンチコントロールも装備されます。PDK仕様車は、「スポーツレスポンス」スイッチを押すと、約20秒間、できる限り迅速にパワーを解き放つため、エンジンとトランスミッションのレスポンスが最大限に高められます。

**低く構えるスポーティなシャシーに、リアアクスルステアをオプションとして設定**

GTSモデルの開発時には、出力、前後G、さらに速いコーナリング速度、最高のドライビング精度も基準リストに掲載されていました。シャシーコンポーネントをスポーティにチューニングしようとしていたデザイナーたちは、カレラSよりもワイドなドレッドを採用することでその目的を達成しました。実際、後輪駆動モデルを含めたすべてのモデルにおいて、リアのトレッドは1,544mmになっています。ワイドなトレッドは、ロールを抑えることからコーナリングの安定性を向上させます。

標準装備されるポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム（PASM）は、ロードグリップを改善してGTSカブリオレとGTSタルガのステアリング精度を高めます。GTSクーペは、車高を10mm低く設定するPASMスポーツシャシーを備えます。さらに、標準装備に追加される統合システムが、GTSモデルの操縦性、ステアリング精度、および俊敏性を改善します。たとえば、GTSモデルのマニュアルトランスミッション仕様車は、ポルシェ・トルク・ベクトリング（PTV）と機械式リアディファレンシャルロックを、PDK仕様車は、ポルシェ・トルク・ベクトリングプラス（PTV Plus）と電子制御リアディファレンシャルロックを備えます。両システムは、コーナリング時に内側の後輪に軽くブレーキをかけ、タイトコーナーの出口における急加速でトラクションを改善します。オプションのアクティブ制御によるロール抑制システムのPDCCは、GTSモデルの高い出力に合わせてチューニングされています。

GTSシャシーは、高い安定性、正確なステアリングフィードバック、そしてニュートラルな操縦性を備えます。GTSモデルには、径を10mm増したフロントブレーキディスク（350x34mm）と911ターボより16%大型のブレーキパッドが装着されています。これらはアルミニウム製の新しいブレーキディスクチャンバーにボルト締めされており、ばね下重量を低減してドライビングダイナミクスの改善に寄与します。

最適化されたベンチレーションとレッドに塗装されたキャリパーを備えたブレーキは、サーキットにおける高い熱負荷の下でもこの上ない制動性能を提供します。GTSモデルにはブラックのセンターロック式20インチホイールが標準装備されます。フロントとリアのセンターロック式ホイールは、911カレラSより0.5インチワイドになり、フロントが9インチ、リアが12インチです。これによってタイヤの接触面が増えてグリップが改善されます。

リアアクスルステアがGTS全モデルに初めてオプション装備されます。50km/hまでの走行速度では、システムはフロントホイールと反対の方向にリアホイールを操舵します。これはホイールベースを短くしたのと同様の効果があり、回転半径が小さくなるため、コーナーでの操縦性がさらに高められるほか、いっそう容易に駐車を行うことができます。

走行速度が80km/hを超えると、システムはフロントホイールと同一方向にリアホイールを操舵します。結果としてホイールベースを延長した場合と同じような効果が得られ、高速道路などでの車線変更時に走行安定性が高められます。フロントアクスルのステリングレシオも10%ダイレクトになります。

PASMとスポーツクロノパッケージのダイナミックエンジンマウントの組み合わせによって、特にドライビングダイナミックが改善されます。電子制御システムがドライブトレインの振動を最小限に抑えるとともに、重量のあるドライブトレインが動いてドライビングダイナミクスに影響をおよぼすのを防ぎます。その結果、ハードとソフトのエンジンマウントのメリットを結合し、未舗装路の走行快適性を損なうことなく荷重移動時と高速コーナリング中のハンドリングを大幅に安定させます。これによってGTS全モデルが、スポ－ツカーに期待されるハイパワーと正確なハンドリングを兼ね備えます。

ドライビングダイナミクスの限界時に車両の自動安定化制御を提供するポルシェ・スタビリティ・マネージメントシステム（PSM）は、走行方向、速度、ヨーレート、横Gを常時モニターします。システムは広範な路面条件で加速時のトラクションを改善します。標準装備のスポーツクロノパッケージにはPSMスポーツモードが新たに追加されます。このモードによって、サーキットや冬季トレーニング中などに911をさらに限界に近づけることができます。スポーツモード機能は、「PSMオン」に比べて垂直軸周りのヨー方向の動きと駆動輪のスリップの許容範囲を広げます。

デザインとエアロダイナミクス – よりシャープなラインとさらに大きなダウンフォース

ニューGTSモデルは、テクノロジーだけでなくルックスについても他の911と一線を画しています。GTS全モデルは、44mmワイドなリアホイールアーチと4WDのワイドなトレッドを備えた911カレラ4のボディをまといます。

ブラックのスポイラーリップと大型エアインテークを備えた新しいスポーツデザインフロントエプロンは、GTSモデルに独自の特徴的な外見を与えます。低い位置にフロントスポイラーを備えて空気力学的に最適化されたフロントエンドと高い位置のリアスポイラーエクステンションが、フロントアクスルとリアアクスルの揚力をさらに低減します。大型エアインテークは冷却機能を高めて、ドライビングダイナミクスとサーキットパフォーマンスにメリットをもたらします。ポルシェ・ダイナミック・ライトシステム（PDLS）を組み込んだバイキセノンヘッドライトとヘッドライトウォッシャーシステムのブラックに塗装したキャップがGTSのフロントデザインを完成します。スモークを施したLEDヘッドライトがオプションで用意されています。

GTSは、ブラックベースのスポーツデザインドアミラーとブラックのGTSロゴを特徴とするサイドビューによって見分けがつきます。911タルガ4 GTSも、初めてブラックに塗装されたタルガバーを備えます。GTS全モデルには、以前は911ターボ モデルに限られたセンターロック式の20インチホイールが装着されます。ホイールはGTSモデル専用のシルキーグロスブラックに塗装されます。

GTSのリアエンドは、スモークを施したリアライトとブラックのテールパイプによって特徴づけられます。エアインテークグリルのブラックに塗装されたトリムとリアリッドのGTSロゴがアクセントを付加します。後輪駆動車では、ブラックトリムストリップが4WDモデルのライトストリップに代わります。オプションのスポーツデザインパッケージの控えめなリアスポイラーはいっそうスポーティな印象を与えます。

パッセンジャーコンパートメントも心が高ぶるスポーツカーの体験に寄与します。標準装備のスポーツシート・プラス（4-way、電動）は、高水準の快適性を提供しながらドライバーと乗員をしっかりとサポートします。GTS全モデルにおいて、シート中央部にはアルカンターラが使用されます。GTSはシート面の新しいステッチ模様によってカレラやカレラSモデルと区別されます。アルカンターラで覆われた360mm径のGTスポーツステアリングホイールも標準装備されます。さらに、コントラストカラーの装飾ステッチとレブカウンターがGTSインテリアパッケージのオプションとして用意されています。

ブラックアルマイトフィニッシュのブラッシュアルミニウム製トリムストリップがGTSのコックピットにサーキットの雰囲気をもたらします。ブラックのドアエントリーガードにはGTSロゴがエンボス加工されており、レブカウンターとヘッドレストにもGTSロゴが冠されます。リアシートなしのクーペでは、センタートンネルのカーペットにもGTSロゴが追加されます。TFT画面の起動時にもGTSロゴが表示されます。

オプションのGTSインテリアパッケージには、カーマインレッドまたはロジウムシルバーのベルトストラップ、ヘッドレストの刺繍ロゴ、およびシートとフロアマットのステッチも含まれます。レブカウンターも選択したカラーで塗装されます。このオプションにはカーボン・トリムストリップも含まれます。

## ポルシェ・コミュニケーションマネージメント – 使いやすいインフォテイメント

オンラインナビゲーションモジュール、ボイスコントロール、およびポルシェ・コネクトを統合するポルシェ・コミュニケーションマネージメントシステム（PCM）がニュー911カレラGTSモデルに標準装備されます。PCMはスマートフォン同様に7インチスクリーンのマルチタッチジェスチャーで操作し、手入力も認識します。携帯電話やスマートフォンをWi-Fi接続することも可能です。センターアームレストに統合されたスマートフォンのストレージコンパートメントは、携帯電話の電波受信に最適な場所です。

リアルタイム交通情報によって迅速で信頼性の高いナビゲーションが可能です。交通状況の概要をドライバーに伝えながら、ダイナミックなルート調整も行います。その他の多数のポルシェ・コネクトサービスを使用することができます。各国と各車両で使用可能なコネクトサービスについての詳細はwww.porsche.com/connectをご覧ください。

スポーツクロノパッケージも標準装備されます。このパッケージには、ダッシュボードのアナログストップウォッチとメータパネルのデジタルストップウォッチに加えて、PCMのパフォーマンスディスプレイも含まれます。ニューGTSモデルには、強化されたポルシェ トラックプレシジョンアプリが初めて標準装備されます。このモータースポーツ由来のスマートフォンアプリは、車両システムに直接接続して、世界中のサーキットから得られた情報を自動的に記録・表示し、その情報を詳細に分析します。ドライバーは全世界の130ヶ所のプリセットされたサーキットで自分のラップを記録することができます。サーキットがプリセットされていない場合は、自分でアプリに追加することも可能です。

車両がサーキットを走るとき、アプリは直接スマートフォンにドライビングダイナクミスを表示します。セクションとラップタイムに加えて、基準ラップからの偏差もダイナミックに表示します。これを行うために、アプリは、PCMからの正確なGPS情報と一緒に高精度な車両データを使用します。ドライビングデータのグラフ分析とビデオ分析がドライビングパフォーマンスの継続的な改善をサポートします。ビデオ分析は、スマートフォンのカメラを使用して、ダイナミックなドライビングデータによって画像を補足します。2つ目の外部カメラを追加すれば、走行中に別の視点の画像を補足することも可能です。ドライビングデータの分析や他のラップタイムとの比較によって、ドライバーは最適なブレーキポイントや理想的なレースラインを迅速に確認することができます。アプリによってラップタイムの音声による読み出しや、ソーシャルネットワークを介した友人との記録の共有も可能です。さらに、記録されたビデオ分析とドライバーデータは、エクスポートして、自宅のPCで追加のソフトウェアを使用して綿密に分析することができます。走行中の心拍数の計測とさらなる分析のための記録など、Apple Watchのオーナーのための追加機能も用意されています。

オプションのアシスタンスシステム – 性能の強化に見合った安全性の向上

911 GTSモデルは、アシスタンスシステムを使用して、個人の要求に合わせることができます。下り坂で設定速度を超えると、オプションのクルーズコントロール機能が適度なブレーキをかけます。PDK仕様車の場合はACCアダプティブクルーズコントロールシステム（オプション）にコースティング機能が含まれます。この機能が作動すると、システムはエンジンとトランスミッションの接続を切り離して燃料消費量を抑えます。

レーンチェンジアシスト機能は、多車線道路の走行時にGTSモデルの安全性を改善します。システムはリアエンドのレーダーセンサーを使用して車両後方エリアとドライバーの死角をモニターします。車速が30－250km/hのとき、アシスト機能は、ドアミラーの警告灯で後方または死角から車両が近づいていることをドライバーに知らせます。ドライバーが方向指示器を作動させるかシステムが車線変更を検知すると、警告灯は4回連続して点滅します。レーンチェンジアシストによる利便性と安全性の向上は、特に高速道路においてその真価を発揮します。この機能は車両の制御に関与することはなくいつでも解除することができます。

**燃料消費量およびエミッション排出量**

**911カレラ GTS：**燃料消費量 9.4–8.3リッター/100km（複合）、12.9–10.7リッター/100km（市街地）、7.3–6.9リッター/100km（郊外）、CO2排出量 214–188g/km

**911カレラ4 GTS：**燃料消費量 9.7–8.5リッター/100km（複合）、13.3–10.9リッター/100km（市街地）、7.6–7.1リッター/100km（郊外）、CO2排出量 220–192g/km

**911タルガ4 GTS：**燃料消費量 9.7–8.7リッター/100km（複合）、13.3–11.2リッター/100km（市街地）、7.6–7.3リッター/100km（郊外）、CO2排出量 220–196g/km